

若年女性のメンタルヘルス支援プログラムを実施

メイベリン 日本ロレアルのメイクアップブランド「メイベリン ニューヨーク」は、10代・20代の心の悩みを抱える青少年の支援団体「特定非営利活動法人BONDプロジェクト（BONDプロジェクト）」とのパートナーシップを締結した。

同プロジェクトは、認知度向上支援として、メイベリンで、メンタルヘルス啓蒙を展開する各国を取り組む若年女性のメンタルヘルスを支援するプログラム「BRAVE TOGETHER」として、メイベリンニューヨーク製品の寄付やメイクアップセミナーの開催、SNSでのメイクアップ動画の配信等を行う。

各国においては、世界中で活動する主要なメンタルヘルスの支援団体へ、今後5年間で1000万米ドルの投資を行う。



現在、メンタルヘルスは日本を含む世界各国で大きな健康問題の1つになっており、米国の調査によると、精神疾患を患う成人の半数は10代半ばまでに、4分の3が20代半ばまでに発症することが報告されている。

日本においても、精神疾患の生涯有病率は18.19%と推計され、これは日本人の約5人に1人が生涯の中でいずれかの精神障がいを経験する計算になるという。

このような状況を受け、メイベリン ニューヨークは、若年女性の内に秘

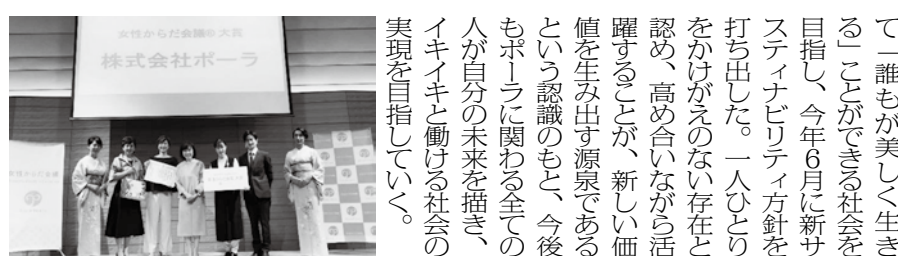
めた可能性を最大限発揮できる社会の実現を目指し、ブランドのイニシアティブとして、10月15日付でメンタルヘルス支援プログラム「BRAVE TOGETHER」を発表した。

ブランドのDNAである「メイクの力で女性を輝かせ、自信を与える」のもと、メンタルヘルス不調への偏見を取り除き、誰もが活き活きと自

分らしく生きられる世の中になりたいという強い想いを体現すべく、ブランドは、女性の健康や予防医療、がん対策に取り組む活動や団体を選出する「女性からだ会議大賞2020」にて、10月2日に行われた「第6回地球女性からだ会議2020」授賞式でのプレゼンテーションを経て、ノミネート優秀賞10社の中から大賞を受賞した。

「女性からだ会議大賞2020」にて大賞を受賞
従業員とビジネスパートナーを対象にしたがん共生プログラムに高い評価

ポーラは、女性の健康や予防医療、がん対策に取り組む活動や団体を選出する「女性からだ会議大賞2020」にて、10月2日に行われた「第6回地球女性からだ会議2020」授賞式でのプレゼンテーションを経て、ノミネート優秀賞10社の中から大賞を受賞した。



ポーラは、2029年の創業100周年に向けて「誰もが美しく生きていく」ことを目指し、今年6月に新サステイナビリティ方針を打ち出した。一人ひとりをかけがえのない存在と認め、高め合いながら活躍することが、新しい価値を生み出す源泉であるという認識のもと、今後もポーラに関わる全ての人々が自分の未来を描き、イキイキと働ける社会の実現を目指していく。

三洋化成工業

大阪大学の人材育成事業に参画
女性社員と育休中社員のスキル・キャリアアップを推進

三洋化成工業（本社：京都市東山区、安藤孝夫社長）はこのほど、女性社員と育休中の社員のスキルアップやキャリアアップを図るべく、大阪大学と7企業が協働する2020年度「阪大スタイル産学共創教育事業」に参画すると発表した。

同社は、従業員の多様な人材が活躍できる企業を目指し、従業員が働きやすい環境・体制の整備に努めるとともに、出産・育児・介護といったライフステージの影響を受けやすい従業員の活躍支援に注力するなど、これまでに様々な取り組みを進めてきた。

一方、大阪大学は、文学と、ダイキン工業、大

る。不確実性の高い時代に革新性・創造性の高い組織運営をするための資質を身につけるべく、大阪大学の女性大学院生と各企業の若手女性社員の混合チームがディスカッションを行う。

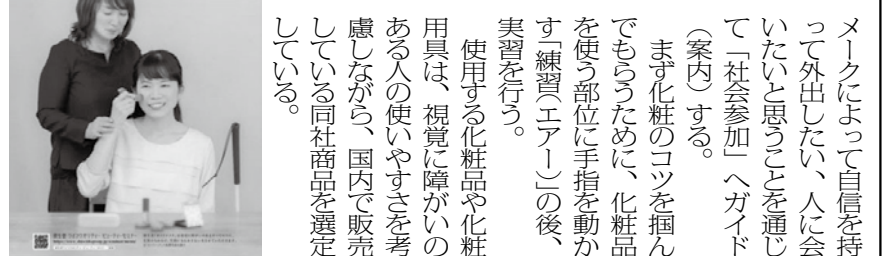
「育休中キャリアアップ支援プログラム」は、育休中企業に参画する女性社員と各企業の若手女性社員の混合チームがディスカッションを行う。

視覚に障がいのある人向けの化粧法を開発

資生堂は、視覚に障がいのある人でも自身で簡単に実践できる独自の化粧法「ガイドメイク」を開発した。

視覚に障がいのある人、視覚に障がいのある人でも自身で簡単に実践できる独自の化粧法「ガイドメイク」を開発した。

視覚に障がいのある人、視覚に障がいのある人でも自身で簡単に実践できる独自の化粧法「ガイドメイク」を開発した。



視覚に障がいのある人、視覚に障がいのある人でも自身で簡単に実践できる独自の化粧法「ガイドメイク」を開発した。